

まきりは

VOL.31 令和6年9月

私たちの理念

PURPOSE 社会的意義

Medical for Happiness

一人ひとりの幸せな人生を支えるために

PROMISE 私たちの約束

「Professional」
医療人としての誇りと謙虚さを持ち、日々研鑽を重ねます。

「Heart」
あたたかい想いやりの心とともに、あなたに寄り添います。

「Team」
和をもった信頼されるチームで、あなたを支えます。

contents

P1 新入職医師ご挨拶

P2 リハビリテーションの効果を高める栄養管理

牧リハビリテーション病院の栄養サポートチームを紹介します

P3 看護部 みんなで楽しく「嚥下体操・ラジオ体操」

P4 リハビリテーション部の紹介 フレッシュマンインタビュー

P5 デイケア門真だより

投げて、入れて、みんなで笑い合った玉入れ大会!

P6 訪問リハビリテーションダイアリー

新しい仲間を紹介します!!

P7 海外・国内の美しい風景

旅するドクター 2



日本整形外科学会専門医

田村 裕一

YUICHI TAMURA

令和6年8月1日より、リハビリテーション医として勤務させていただいている田村裕一と申します。

大阪出身ですが北海道大学を平成6年に卒業後、大阪大学医学部整形外科教室に入局、約30年間整形外科医として臨床診療を行ってまいりました。

近年のリハビリテーション医学の進歩はめざましいですが、これまでの経験を活かしつつ、日々の新鮮な気持ち忘れずにリハビリテーション医療に取り組んでいきたいと思っております。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。



米村 岳尚

YONEMURA TAKEHISA

今春よりこちらでお世話になっております、米村岳尚と申します。岩手医科大学を卒業し、様々な病院で内科医療に携わってきました。

リハビリ専門の病院は初めてですが、今までの知識を活かしつつ、患者さんとそのご家族に寄り添い治療にあたる所存です。

どうぞよろしくお願いいたします。

リハビリテーションの効果を高める栄養管理

牧リハビリテーション病院の 栄養サポートチームを紹介します



当院では、管理栄養士が患者さん一人ひとりに栄養管理計画書を作成し、日々の栄養管理を行っています。中でも特に栄養状態が低下している患者さん、またはそのリスクのある患者さんには、院内の様々な部署から栄養に関心のあるスタッフが集結した栄養サポートチームが、患者さんの栄養改善に取り組んでいます。

当院の栄養サポートチームは、2005年12月に発足しました。牧リハビリテーション病院の開設が2005年11月なので、病院開設の翌月にはもう多職種が集まって患者さんの栄養状態について話し合う機会を設けていたそうです。このことから当院では開設当初から長きにわたり入院患者さんの栄養状態を大切にしてきたことが分かります。

初代栄養サポートチーム発足から19年経った現在、栄養サポートチームメンバーは、医師、看護師、薬剤師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、管理栄養士の合計13名が活動しています。

例えば、食事があまり進まない患者さんへのチー

ム活動として、リハビリスタッフからリハビリ前後の水分補給で高栄養ドリンクを飲んでいただく提案や、リハビリでのトレーニング内容を加味した提案、看護師から食欲不振の原因、食欲のありそうなタイミングや生活リズムなど、日々の生活を加味した提案、薬剤師は食欲や睡眠、排便コントロールに関する薬剤の提案、管理栄養士は少ない量で多くの栄養を摂取出来るような栄養補助食品、嗜好や病態に応じた食事内容の提案。それらの意見や情報を元に医師を中心にチームで相談しながらサポートの内容を決定しています。

当院の栄養サポートチームはリハビリテーションを実施する上で栄養状態の改善は重要であると考えております。栄養状態が低下すると、筋力低下(サルコペニア)、身体機能低下(フレイル)に繋がる可能性が高まります。これからも、患者さんがリハビリテーションの効果を充分発揮できるよう精力的に活動していきたいと思っております。

管理栄養士 大生 杏奈(おおばえ あんな)



みんなで楽しく 嚙下体操・ラジオ体操

看護部

牧リハビリテーション病院では、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた、昼食前の嚙下体操と日曜日のラジオ体操を6月から再開することが出来ました。

毎日、昼食前には「365歩のマーチ」に合わせて首や頬の筋肉をほぐす運動と、発声やパタカラ体操を口腔機能保持のため行っています。

日曜日はリハビリの回数や実施時間が平日と比べると少なくなってしまうことが多く、以前はレクリエーションを行っていました。レクリエーション再開に向けた第一歩としてラジオ体操を始めています。参加した入院患者さんからは「身体を動かす機会になって良いね」「肩回りが楽になった気がする」といった声もあり、笑顔が見られています。

3階病棟 介護福祉士 稲垣 友太(いながき ともた)



お口の体操「ほっぺをふくらませて～」



FRESHMAN INTERVIEW リハビリテーション部の紹介

私たちの新しい仲間の、素顔に迫ります!!



理学療法士 金谷 凜(かなや りん)

Q.なぜ理学療法士を目指そうと思ったのですか?

高校生の頃、バレーボール部に所属しており試合中に骨折したことがきっかけでした。リハビリを受けることになり、当時の理学療法士の方が、私が出来ようになったことを小さなことでも一緒に喜んでくれて、落ち込んでいた気持ちも次第に前向きになりました。そこで、私も心身ともにケアでき、患者さんに寄り添える理学療法士になりたいと思いました。

Q.牧リハビリテーション病院を選んだ理由は?

私は学生時代に牧リハビリテーションで実習生としてお世話になりました。その際、職員の方が丁寧に指導してくださったり、気さくに声をかけてくださったり、とても温かい場所だと感じました。もし自分が患者さんの立場であってもこの場所でリハビリを受けたいと思いました。私もこの職員の方々と一緒に働きたいと思い入職を希望しました。

Q.理学療法士になってどんな時にやりがいを感じますか?

患者さんと「できた!」を共有出来たときです。以前までは出来なかったことが手助けなしで出来るようになった、少しでも歩けるようになった、そんなときの患者さんの笑顔や嬉しそうな表情を見たときに私自身も嬉しくなり、自信にもつながります。

Q.なぜ理学療法士を目指そうと思ったのですか?

中学生の頃に怪我をしたことで、スポーツが出来ない時期がありました。その時に、リハビリを通して理学療法士という職業を知りました。自分と同じように思うように身体が動かせない方に対して、少しでも力になりたいと思い理学療法士を志しました。

Q.牧リハビリテーション病院を選んだ理由は?

牧リハビリテーション病院に見学に来た際に、職員と患者さんが楽しそうにリハビリをする場面を見て、明るく温かい場所だと感じました。また職員同士の距離が近く、疑問点や悩みをすぐに相談できるところにも魅力を感じ、私もこの場所で学びたいと思い入職を希望しました。

Q.理学療法士になってどんな時にやりがいを感じますか?

患者さんの喜ぶ姿を見た時です。日々のリハビリを積み重ねるにつれ、「足が軽くなった」「前よりも歩けるようになった」など、以前まで出来なかったことが出来るようになった時に見る患者さんの笑顔が一番の励みになります。



理学療法士 平山 結衣(ひらやま ゆい)

「投げて、入れて、みんなで 笑い合った玉入れ大会!」



玉入れ大会を行いました!普段は静かにクロスワードに取り組まれる方が多いので、大会が盛り上がるのか、不安もありましたが、その思いはすぐにかき消されることになりました。司会者の説明後、それぞれチームカラーの3種のハチマキを付けると、皆さん自然と気持ちが高まっていくのが伝わってきました。そして、箱を担いだスタッフが出てくると、一瞬でフロアは熱気に包まれ、それまで笑顔だった利用者さんの顔が、鋭い目つきに変わり、箱を目掛けて玉を投げ入れます。知らず知らずのうちに立ち上がっている利用者さんもおられ、いつの間にか、箱の中にはたくさんの玉が入っていました。

さあ、メインイベントの玉数え!みんなで声を出し、1・2・3…なんと2チームが引き分けの55個!チーム代表として選ばれた方がジャンケンで勝負!!最後の最後まで勝敗が分からない結末に、ハラハラ、ドキドキ…。白チームが「グー」、ピンクチームが「チョキ」で白チームの勝ち!悔しそうな声や喜びの声が飛び交い、とても盛り上がりました。

帰りの車内でも、「今日は楽しかったー」「またやりたいね」という感想を頂きました。久しぶりに気持ちの良い汗をかき、青春時代が思い出される。そんな大会になりました。

介護福祉士 石田 聡子(いしだ さとこ)



新しい仲間を紹介します!!

新型コロナウイルスの影響により当院でも様々な制限が強いられていましたが、5類感染症へと移行後、制限が少しずつ緩和されてきています。リハビリテーション業務においても、今年からコロナ禍前と同様に、入院中の方にリハビリテーションを行うセラ

ピスト(病棟リハ)と、在宅生活を送る方に行うセラピスト(訪問リハ)との兼務が可能となりました。そのためスタッフが増え、ますます活気とやる気に満ちています!!! (笑)



理学療法士 井内 如香(いうち にわか)

私は、病院内でのリハビリテーション業務の経験しかなかった為、退院後の生活が実際にどのようなものかを見てみたいと思い、6月から訪問リハビリテーション業務との兼務をさせて頂く事になりました。病院では骨折や脳卒中の方に対するリハビリテーションが主となりますが、訪問では今まで携わることがなかった疾患の方に対してリハビリテーションを行う機会もあります。

また、身体機能の回復のみならず住宅環境の調整や福祉用具等の提案も含め、1日40分×週に1~3回という短い介入時間の中で検討し、ケアマネジャー等の様々な方と情報を共有していく必要があります。今までの業務とは異なる難しさも感じています。

まだまだ慣れないことも多いですが、理学療法士として更に視野を広げられるように頑張りたいと思います。



作業療法士 稲尾 公一郎(いなお こういちろう)

これまで入職して病棟業務に携わってきましたが、訪問リハビリにも興味があり、もっと作業療法士としての視野を広げて学んでみたいと思い、今年の5月より新たに訪問リハビリの業務に就ける機会を頂きました。

訪問リハビリはご自宅でリハビリを行うので訓練内容の工夫や、自宅環境を生かした福祉用具の選定や環境調整に悩むこともあります。多職種連携を意識し、よりよいサポートが出来るよう頑張りたいです。

今後も利用者さんの在宅生活を支援できるよう新しいスタッフと共に頑張っていきます!!

言語聴覚士 濱野 慎悟(はまの しんご)

旅するドクター 2

今号の表紙:パリ

泰永院長が旅の途中で撮影した、海外・国内の美しい風景を紹介します。

今回は、五輪開催直前のパリを訪れました。『まきりは』が発行されるのは閉幕後ですが、開催中はきっと世界中が熱く沸いていたことでしょう。

さて、15年前にパリを訪れた時には、ベルサイユ宮殿やルーブル美術館などの『直球』を訪れたので、今回はモンマルトル、セーヌ川、老舗デパートという『変化球』で攻めました。

写真上①は、モンマルトルにある、サンクレール寺院の写真です。モンマルトルは、パリ市内でも小高い丘の上であり、芸術家などが暮らしていたと聞きます。丘の上には、サンクレール寺院があり、手前の芝生は市民の憩いの場となっています。サンクレール寺院は普仏戦争の犠牲者を悼むために、1875年より建設が開始され、1914年に完成し、パリ全体を見守っています。

写真左②は、お馴染みエッフェル塔の写真です。セーヌ川沿いに散歩して、エッフェル塔までたどり着きましたが、塔に五輪が飾られていました。そして、手前には開幕までのカウントダウンの時計が備えられていました。ただ、滞在中、『五輪直前』の熱い雰囲気は、街中からは殆ど感じ取れなかったのが、意外でした。

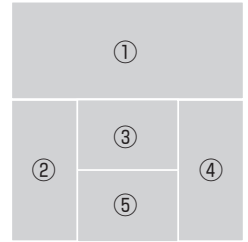
写真中③は、セーヌ川水上バス『パトビュス』からの写真です。ディナークルーズが定番ですが、ゆっくり時間が割けなかったので、水上バスにしました。セーヌ川自体は、決して清らかな流れではなく、船に乗っていても、清々しい気分とはかけ離れていま

す。そして、後にも述べますが、高い建造物はエッフェル塔くらいで、ルーブル美術館なども建物としては低く、川から建造物を見上げるようなダイナミックさに欠けていた気がします。もし、街がライトアップされたディナークルーズなら、印象も変わっていたかもしれません。

写真右④は、老舗デパートの吹き抜けドーム屋根の写真です。1893年開業で増改築が進められ現在の規模になっています。写真のように見事な『抜け感』があり、デパートに入った途端、思わず息をのみました。買い物客の購買意欲を高めます。その日は、『SOLDE』(バーゲンのこと)の張り紙があちこちにあり、地元客や観光客でごった返していました。

写真下⑤は、老舗デパート屋上テラスからの写真です。屋上は8階の高さになるのですが、パリ市内が一望できます。ふと気が付くと、高い建物がありません。左はオペラ座、中央奥はエッフェル塔です。実は、フランスは1962年に制定された『マルロー法』という法律で、景観保全のために、建物の高さが厳しく制限されています。流石、『お洒落』を最優先するフランスですね。大都市にビルが乱立する日本とは大違いです。

以上、パリを紹介しました。次号もお楽しみに!



アクセス

【電車の場合】
 ■大阪メトロ長堀鶴見緑地線「門真南駅」下車2番出口上がってすぐ。
 【お車の場合】
 ■近畿自動車道をご利用の方は、北行き「大東鶴見」南行き「門真」出口を降りてください。
 ■第2京阪道路をご利用の方は、西行き「第2京阪門真」出口を降りてください。
 ■中央環状線(堺方面)からお越しの方は「ラクタブドーム」の看板が見えたら「茨田大宮1交差点」を右折し、セブンイレブンの角を左折後直進、1つ目の信号を左折し更に左折してください。
 ■中央環状線(守口・大日方面)からお越しの方は「ラクタブドーム」の看板が見えたら側道へ入り、1つ目の交差点「第2京阪側道へ」を左折後すぐ「三ツ島」より側道へ入り、1つ目の信号を右折(高架をくぐり)更に右折後直進してください。
 ■1号線(第2京阪側道)(枚方方面)からお越しの方は、北島東交差点後、「三ツ島」より側道へ入りそのまま直進してください。
 病院敷地内に駐車場がありますが、少数のため空きが無い場合はラクタブドームのコインパーキングをご利用ください。



【お問い合わせ先】
 社会医療法人 **ONE FLAG**
牧リハビリテーション病院
 〒571-0015 門真市三ツ島3丁目6番34号
<https://www.maki-group.jp/makireha/>
TEL.072-887-0010